

【第7分科会】 研究・研修
研究課題 学校の教育力向上を目指す研究・研修の推進

1 分科会の趣旨

【研究課題の背景・現状】

- ◇学校の教育力向上のためには、教員の特性や力量を見極め、個に応じた課題と具体的な解決のための展望をもたせることが重要となる。
- ◇研究・研修の推進に際しては、役割に応じて活躍できるよう環境整備を図ることや、「チーム学校」への参画意識等を高める必要がある。

【研究課題解決の方向性】

- ◇自校の教育目標の実現に向けて一人一人の教員の資質能力向上を図るとともに、学校経営に積極的に参画させながら、学校の教育力向上を目指す研究・研修を推進していく。

過去6大会の成果と
前年度の課題

背景・現状を踏まえて、具体的方策と成果を明らかにする

2 研究の視点

- (1) 学び続ける教員像の確立を目指す研究・研修体制の充実
 - ・人事評価制度などを活用し、教員一人一人に具体的な目標をもたせる。
 - ・学級経営や教科等の指導方法等に関する校内研究・研修を組織的・計画的に推進したり、校外研修の機会を積極的に与えたりしながら、研修意欲と資質能力の向上を図り、学校全体の教育力を高めていく。
- (2) 「チーム学校」の経営意識をもたせる研修の推進
 - ・教員一人一人の特性や力量を把握し、適材適所の分掌配置を行う。
 - ・職能に応じた研修機会を積極的に与え、職務遂行能力と学校経営への参画意識を高める。

3 「校長の果たすべき役割と指導性を究明する」ための協議の柱

- ① 学び続ける教員像の確立を目指して、どのようにして研究・研修体制を充実させるか。
- ② 「チーム学校」の経営意識をもたせるために、研修をどのように工夫するか。

第7分科会 「研究・研修」学校の教育力向上を目指す研究・研修の推進

【視点①】 学び続ける教員像の確立を目指す研究・研修体制の充実

『竹田市教育のまちTOP運動』を基盤に、若い教員の実践的指導力を高める
研究・研修における校長の役割」

大分県 竹田市立豊岡小学校 校長 佐藤 一彦

1 趣 旨

大分県教育委員会の人事異動方針により、若い教員が約3年で他市へ異動していくという状況の中、若い教員の資質能力の育成と、学校全体の教育力の向上をどう連動させていくかが大きな課題となっている。竹田市教育委員会は「協調学習・郷土学・T授業」を柱とした「竹田市教育のまちTOP運動」を推進している。そこで、校長として、「TOP運動」を基盤に、若い教員の実践的指導力を高めるための研究・研修体制をどのように充実させればよいかについて研究を進めた。

2 研究の概要

- (1) 竹田市校長会主催の「竹田市教職員全体研修会」の取組
- (2) 「協調学習」の指定研究を通して若い教員を育成する取組
- (3) 「特別の教科道徳」の指定研究を通して若い教員を育成する取組

以上のような内容で、校長として、市教育委員会の施策である「竹田市教育のまちTOP運動」についての教員の理解を深めるとともに、それと連動した各学校の校内研究の意義や目的、自己目標との関連などを教員自身にしっかりと認識させ、若い教員の実践意欲や実践的指導力を高めようと、組織的・計画的な研究・研修を推進した実践について発表する。

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

ベテラン教員から若い教員へ
授業力向上 評価システム

校長会主催の教職員全体研修会
面談 組織的・計画的 実効性

OJT 授業改善
校内研究と学校経営の連動

【視点②】 「チーム学校」の経営意識をもたせる研修の推進

「ふくしまの復興へ向けた『チーム学校』の参画意識をもたせる研修の推進」

福島県 新地町立福田小学校 校長 島 和宏

1 趣 旨

大震災から8年目、福島県浜通り地区では、地元での学校再開を果たすなど、復興へ向け一歩一歩前進してきたところである。このような中、学校の教育力を向上させるためには、校長が自校の課題を明確にしなが、課題解決のための焦点を絞り、教職員の専門性や能力が発揮できるチーム体制の構築や環境の整備を図り、「チーム学校」としての機能を充実させていくことがますます重要である。本研究では、校長がリーダーシップを発揮し、学校の教育力を高める実践的な研修を推進していくために果たすべき役割と指導性を明らかにした。

2 研究の概要

- (1) 教職員に求められる実践的な指導力についての意識調査
- (2) 「チーム学校」としての機能を高める校内研修の在り方及び校長の役割
- (3) 学校の教育力向上に向けた校内研修の取組

以上のような内容について、2年間にわたり進めてきた3つの実践「①専門性に基づくチーム体制の構築の実践、②学校マネジメント機能の強化の実践、③教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備の実践」を基に、成果と課題について明らかにする。

<メモ>

【発表内容に関すること】

【自己の実践等に関すること】

○有効な取組

○疑問・改善

◇「校長の役割と指導性」について、協議内容を簡潔にまとめると…【キーワードかキーセンテンスで】

☆参考キーワード

チーム学校 校長のリーダーシップ 意図的・計画的な校内研修 実践的な研修
専門性 学校マネジメント 指導力の向上 教職員一人一人の資質や能力、経験年数

過去6大会の成果と前年度の課題

領域Ⅲ 指導・育成 第7分科会 研究・研修

<p>25 三重 大会</p>	<p>研究課題 学校教育力を向上させる研究・研修の推進 視点1 教員の資質指導力が高まる校内研究体制の推進 視点2 教員に展望や参画意識をもたせる研修の推進 <input type="checkbox"/> 校長が明確な方針やビジョンを提示し、丁寧に説明することで、教職員の意識を変え、協同性を高めることにつながった。 <input type="checkbox"/> 個々の教員に「具体的な目標」をもたせることがよりよい課題解決につながる事が明らかとなった。</p>	
<p>26 埼玉 大会</p>	<p>研究課題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進 視点1 教員の資質能力を高める校内研究・研修の推進 視点2 教職員に展望や参画意識をもたせる研修の推進 <input type="checkbox"/> 教育課題の解決、指導力等の教員の資質能力の向上に資する取組であり、その推進のために校長会や教育委員会との連携が大きな役割を果たした。 <input type="checkbox"/> 校長がリーダーシップを発揮し、教職員一人一人の経験や分掌を踏まえ、個々の課題に応じた研修を推進することが必要である。</p>	
<p>27 山口 大会</p>	<p>研究課題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進 視点1 教員の資質能力の向上を目指した研究・研修体制の充実 視点2 キャリアステージを意識した展望や、学校経営への参画意識をもたせる研修の推進 <input type="checkbox"/> 初任者を核として、「初任者を学校の教職員みんなで育てる」という意識が自然に芽生える体制づくりをすることで、学校の教育力の向上につながることが確認された。 <input type="checkbox"/> 互いに高め合う教職員集団づくりや全員で取り組む校内研修体制の整備等により教職員の参画意識を高めることが、校長の果たすべき重要な役割であることを認識した。</p>	
<p>28 高知 大会</p>	<p>研究課題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進 視点1 教職員の資質能力を高める校内研究・研修の推進 視点2 教職員に将来の展望や学校経営への参画意識をもたせる研修の推進 <input type="checkbox"/> 校内組織や業務内容を改善することで教職員のモチベーションの向上や組織全体の活性化へつながった。 <input type="checkbox"/> 校長が自ら行動することで、教職員の授業改善への意欲を引き出し、多様な研修スタイルの導入により、課題解決に向けての一体感と協働性が高まった。 <input type="checkbox"/> DCAP サイクルによる評価・改善を行うことで、反省が反映した計画ができて会議の時間短縮・校務のスピードアップと若手を含めた学校運営参画意識高揚につながった。</p>	
<p>29 佐賀 大会</p>	<p>研究課題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進 視点1 教職員の資質能力の向上を目指した研究・研修体制の充実 視点2 教職員に将来の展望や学校経営への参画意識をもたせる研修の推進 <input type="checkbox"/> 授業改善を核とした「担任力」の向上が学校教育力の向上、そして保護者や地域の信頼につながる。 <input type="checkbox"/> 個々の教職員の特性を把握し、力を発揮できる場を保障することが、協働する質の高い組織につながる。 <input type="checkbox"/> 校長の役割は、明確なビジョンを示し、「同僚性」の良さを生かした学校づくりを行うことであり、そのための取組が、教育集団としての組織力や教育力の向上につながる。</p>	
<p>30 北海道 大会</p>	<p>研究課題 学校の教育力を向上させる研究・研修の推進における校長の在り方 視点1 教職員としての資質能力の向上を目指した研究・研修体制の充実 視点2 キャリアステージを意識した展望や、学校経営への参画意識をもたせる研修の推進</p>	
	<p>成 果</p> <p><input type="checkbox"/> 校長が、教職員の力量や長所・特性に応じて、資質能力の向上に資する研究・研修を可視化することにより、研修意欲の高まりや、学校力の向上に効果的であった。 <input type="checkbox"/> 校長が若手教員を主任層に抜擢し、チーム力によって支え、学校運営に貢献する人材配置を決断することは、経営参画意識の向上や学校組織の活性化に有効であった。</p>	<p>課 題</p> <p>■研究・研修を推進する時間の確保や、管理職以外の指導教員不足について、抜本的な改善策を講じる必要がある。 ■学校教育の質の向上に資する経営参画意識を醸成するために OJT やメンターチームの編成等、具体策を講じる必要がある。</p>

(各大会の集録より一部引用)